

医療安全情報レポート Vol.47

働くみんなの医療安全

与薬時の誤認・誤薬防止のために確認する 6R みなさん覚えていますか？

与薬時、原則 6 R で確認していると思います。

いざ確認するとなると何を確認すべきか忘れてしまった……という経験はないでしょうか？ 今回は、手を使用した覚え方を紹介します。6 R について理解し、事前の確認をしっかりと行い医療事故を防止していきましょう。

中指

中に入る方法（経路）



人さし指

人（患者）の名前



親指

親は時間にくるさい



薬指

薬の名前



小指

小児は量が大切



5 R に「目的」を追加

正しい時間 (Right time)

指示通りの日時・曜日が確認します。

正しい患者 (Right patient)

同姓同名や似たような名前の患者さんと間違えないように確認します。

正しい方法 (Right route)

与薬方法により薬効が異なります。

正しい薬剤 (Right drug)

似たような名称、似たような剤形に注意します。同じ名称でも濃度の違う薬剤があります。

正しい量 (Right dose)

指示された薬物の単位を確認します。(g, mg, μ g, ml, mEq, U, IU など) 同じ薬剤でも 1 錠、1 アンプル、1 バイアルあたりの薬物量が違うものもあります。

正しい目的 (Right purpose)

何を目的にして、薬の指示が出されているかを理解しましょう。

引用文献：看護roo！